

モミの木効果に大満足 家族の時間が心地よい我が家

次世代の住まい
CASE 48
 福島県福島市
Sさんの家
 取材日/2016年10月



リビングから吹き抜けを見上げたところ。声も通るので家のどこにいても互いの気配を感じられます。



吹き抜けのあるリビングは自然光に溢れた明るく心地良い空間です。リビング階段もご夫婦のこだわりのひとつ。断熱効果の高いスピンオフで家全体が温かいので自由な間取りが楽しめます。

「家も人もいい出会いに恵まれました」と話すSさんご家族がモミの木の家に出合ったのは、2012年2月のこと。「初めてモミの木の家に入ったとき、『静かだな』と思ったことを覚えています。また、花粉症でかゆかった目が、中を案内してもらったうち、気にならなくなった。その印象が大きかったですね」とご主人。転勤が多いので家を建てるのはまだ先と思いつながらモビルハウス巡りをする中、五感で感じたモミの木の良さ。後からモミの木やスピンオフの効果を知り、モミカフェで学ぶうちにご主人も奥様も大いに納得したそうです。お子さんが小学校の中学年になって本格的に家づくりに取り組むことになったとき、「印象が良かったモミの木の家を再び訪れると、2年経つのにスタッフの方が覚えていてくれた。自然な感じで迎えてくれてうれしかったですね」とご主人。それからは転勤先の新潟から月一回打ち合わせに駆けつけ、「家族と一緒に過ごす時間」と「モミの木をふんだんに使ってマにじっくり話し合いを深めました。2016年3月に引き渡し。」「何度も設計変更しましたが、気持ちよく答えてくれた。大正解の家づくりでした」とご主人。

いつもは本社にいる私ですが、S様ご家族が中山店のモビルハウスに出来場いただいた時は、ちょうど中山店に応援に行っているときでした。いま思えば、その時から何かの縁があったのかも知れませんね。S様ご家族は皆さん明るく朗らかで、初めてお会いした時から楽しくお話しさせていただきました。モミの木の床にとても興味を持って頂き、翌日開催のモミカフェ(セミナー)にも快くご参加頂きました。新潟に転勤になられた際もわざわざお牛紙を頂きました。打合せ中は新潟と仙台の往復で大変だったと思いますが、「モミの木の家」を一緒に造ることができ、とても感謝致しております。これからも末永くどうぞ宜しくお願い致します。

担当/本社 佐々木

住み始めて半年。夏場の涼しさや「カレーの匂いが部屋に残らない」などモミの木効果を実感する毎日。息子さんも9月には必ず行っていた耳鼻科に今年は行かずに済んだとか。「パパはいいことは何でもモミの木のおかげで言っただよ」と話す息子さんもうれしそうでした。



2階ホールは遊んだり昼寝したり、ぼんやりしたり(!?)と家族それぞれの時間を楽しめるセカンドリビング。ご主人曰く「我が家は3LLDK」。



寝室は天井の一部にもモミの木を施しモミの木の「サンドウィッチ効果」を高めます。ベランダの予定だった場所を雨雪の日も気にせず洗濯物が干せる※サンルームにももちろん床はモミの木です。



Sさんご家族と一緒に過ごす時間が長いダイニングは天井にもモミの木を施しました。息子さんの勉強机もここに配置。カウンターの一部(ホーロー)はホワイトボードになるアイデア。



手前は奥様のアイデアの作業台にもなる食品庫。リビング側からの目隠しにもなっています。柱の一部はホーローパネルになっており、工夫次第で幅のある使い方ができます。



CASE48:福島県福島市 Sさんのお宅
 家族構成 ご主人、奥さま、ご長男
 延べ床面積約32坪 3LDK
 こだわり設備:モミの木の床、スピンオフ



低めのロフトはベッドや読書スペースなどいろいろ使えるおもしろい空間に。



まるで秘密基地のような子ども部屋。



寝室と繋がっている約4畳のクローゼット。床、壁、天井すべてにモミの木を使用しました。

